

経田っ子

思いやりいっぱい
 学びいっぱい
 元気いっぱい

例年より遅い梅雨入りでしたが、まだ本格的な長雨とはならず、晴れ間にはプールから歓声があがっています。

6月17日(土)に行われた学習参観・親子活動にはたくさんの保護者の方に参観・参加していただき、ありがとうございました。子供たちは普段の学校生活では見せない笑顔いっぱいの表情で、生き生きと活動していました。

7月は1学期のまとめの月です。学習した内容をしっかりと定着させ、がんばった自分を振り返り、自信をもたせたいと思います。

7月の行事予定	
1	土
2	日
3	月 集金振替日
4	火
5	水 地区児童会 2年水泳指導教室(市民プール)
6	木
7	金 とやま室内楽フェスティバル 学校コンサート (4限 3・4年生、5限 5・6年生)
8	土
9	日
10	月
11	火
12	水
13	木
14	金 ミニ集会
15	土 潮風ボランティア(育成会 ふるさとのクリーン作戦)
16	日
17	月 海の日
18	火 給食訪問(5年生)
19	水
20	木
21	金 給食最終日 地区児童会 110番の家へのあいさつ(全校 14:00下校)
22	土
23	日
24	月 終業式(全校11:50下校)
25	火 夏季休業・プール開放開始
26	水 宿泊学習(5年 立山登山)
27	木 宿泊学習(5年)
28	金 和田小歓迎 準備
29	土 姉妹校交流・和田小歓迎(6年)
30	日 姉妹校交流・和田小歓迎(6年)
31	月

生き生きとした表情の親子活動

1・2年 親子でエンジョイ! わくわく体操



レクリエーション協会の浜田修百さんの指導のもと、親子で触れ合う体操を教えていただきました。しばらくの間にお子さんの体が大きくなったことが実感できたのではないのでしょうか。

3年 Tシャツヤーンでタッセル作り



ヤーン? タッセルって何? 不思議な活動名に、わくわくしながら取り組んでいました。

4年 親子ドッジビー大会



子供たちが大好きなドッジ! 保護者の方も小学校時代を思い出されたのでは...

親子でクッキング



ちょっと心配な場面も見られましたが、温かいまなざしで見守る保護者の方の姿が印象的でした。

6年 横断幕づくり



歓迎式まであと1ヶ月。和田小の皆さんの喜ぶ顔を思い浮かべながら、黙々と描いていました。

—お知らせ—

7月14日(土)に潮風ボランティアが行われます。今回は育成会のふるさとのクリーン作戦もかねております。小雨決行です。たくさんの参加をお願いします。

校長を超えた子供たち



昨年度の校長杯争奪全校足し算・引き算大会に引き続いて、新たに3年生以上で九九大会を実施しました。自分も頑張ったつもりですが、2分間で133問。みんな本気モードで練習の時よりも得点アップ。校長を超えた子供たちは9名いました。最高は168問、拍手！！トロフィーを贈呈します。他に全校1～5位、各学年の1～3位にもメダルを授与します。英語やICTなど最近の教育は、幅広い知識・技能が求められ振り回されている感じがありますが、寺子屋時代の「読み・書き・そろばん」は何百年たっても変わらない教育の基本だと思っています。そろばん（計算）は、電卓あるから必要ないという考えもありますが、日常生活で買い物や車での移動等で四則計算や割合、概数の考え方ができることが、無駄のない買い物や時間を考えての移動など賢い生活に役立ちますので、子供たちにはしっかりと身に付けてほしいと思います。

「くそばばあ」「くそじじい」は外国語



知り合いの方から、「2年生の子が祖父母に『くそばばあ』『くそじじい』と言うんです。とても我が子とは思えません」と相談を受けました。祖父母は孫への愛情から結構躰に厳しい方で、子供はわりと自由奔放な感じで、細かいことを言われることが嫌なタイプで、よく見かける光景です。言われた祖父母はショックを受けたり、親に対して何てことを言わせているのと思ったりしたかもしれません。その時、明橋大二先生（真生会富山病院、ベストセラー著書「子育てハッピーアドバイス」）の講演を思い出しました。

…反抗できるのは甘えさせてもらったからです。そして、「べつに～」「くそばばあ」「うるさい～」などは外国語だと思いなさい。翻訳が必要です。」と。

「べつに～」は「構わないでね」、「くそばばあ」は「お母さん（おばあちゃん）」、「うるさい～」は「わかっています」、「ぶっころす」は「怒っているのね」まあ、「ぶっころす」とかは言うて欲しくないですが。（苦笑）

つまり「くそばばあ」「くそじじい」は外国語だと思えばいい、訳すと「わかっていますよ、おばあちゃん、おじいちゃん」になります。そうするとふっと楽な気持ちになりますね。「死ね」と言われると腹を立てますが、「Go to hell」と言われるとピンとこないと同じです。もちろん、その言葉は言うてはならない言葉で、言われた人は悲しい気持ちになり、そんな言葉を言うママやパパも悲しいことを伝えて、今度からは言わないように念を押す必要はあります。きつとうまくいくことでしょう。私の孫は、まだ赤ちゃん語ですが、いずれ「くそじじい」と言う日が来るでしょう。その時は「なあに？くそばうず」と言い返したいです。



雑巾がけリレーは日本の小学校の風物詩！



第2回ハピネス集会で縦割り班対抗の「雑巾がけリレー」を行い、結構盛り上がりました。ところでこの雑巾がけですが、住まいの床が板張りからフローリング等に変ったことで、モップやワイパー、化学雑巾が普及し、バケツに水を入れての雑巾がけは、家庭で滅多にすることはなくなったと思います。だから学校独自の文化と言っても過言ではありません。

欧米では、学校は「学問を学ぶ場所」として、掃除は清掃員の仕事、または家庭の躰としてとらえられているので学校では掃除をしていません。日本の大学でしないのと同じです。しかし、日本の小中高校は「生き方を学ぶ場所」として人間形成を目的としているので、当然、清掃は自分たちで行う文化があります。ずいぶん昔、アメリカへ研修で行った中学校で、生徒に「もし掃除あったらどうする？」と聞くと「帰る」と答え、なんでそんなこと聞くのという顔をされました。もしも雑巾がけリレーの国際大会があったら、日本は間違いなく優勝でしょう。なにせ小学校の時から鍛えてますから。